

# 春日山原始林授業づくりセミナー 第1回 フィールドワーク 概要報告

奈良教育大学研究員 杉山 拓次

実施日：2020年8月2日（日）9:00~13:00

参加者：現職教員等：川崎（教職大学院）、山本（附属中学校）中澤（きんき環境館）

学生：下原、藤本、西條、北吉、古橋、稲富、

附属中学校：9名

教育大：杉山、中澤

■実施場所：春日山遊歩道（北部）

■実施概要：実施行程は以下の通り。

9:00 春日大社本殿バス停（春日大社国宝殿）集合・挨拶、自己紹介、コース説明

9:20 出発～水谷神社～春日山遊歩道（北部）～若草山山頂

12:30 若草山山頂到着～若草山入山（南ルート）

13:20 若草山登山口 解散

## ■概要報告

水谷川沿いに春日山遊歩道を歩き、若草山山頂まで、山頂から南ルートで降るコース。

参加者には、ルートマップを配布し、それぞれで発見したものを記入してもらおうという形ととった。

道中、杉山より春日山原始林の文化的背景、自然環境の現状と課題、保全の取り組み等について、ポイントごとに解説・アクティビティの体験を行なった。

## ■解説ポイント

- ・春日大社龍王社（春日山と春日大社の関係について）
- ・水谷川・水谷神社（水谷川と春日大社、春日山原始林の関係について）
- ・原始林のナギ（ナギの特徴と、原始林におけるナギの課題について）
- ・天然記念物の碑・洞の仏塔石（春日山原始林の文化的背景について）
- ・イチイガシについて（原始林を構成する樹種について）
- ・月日磐・氷室について（月日磐の確認と氷室について）
- ・ツクバネガシ枯木とナラ枯れ（森林の循環とギャップ、ナラ枯れの問題について）
- ・植生保護柵について（植生保護柵の効果と、台風被害による影響について）
- ・感性の体操（音を聞く、目を閉じて光と風を感じる）
- ・台風被害によるギャップとナンキンハゼについて（ギャップ地へのナンキンハゼの侵入について）
- ・ムクノキについて（葉っぱの特徴について）
- ・ムササビについて、オオルリとの出会い（野鳥の生息について、ムササビの生息について）
- ・切割の道（御蓋山・春日山境界について）
- ・センチコガネ・オオセンチコガネ（二種の違いの確認）
- ・ナラ枯れ木とテイカカズラ
- ・春日杉倒木について（原始林内の倒木被害、土砂崩落の状況について）
- ・ヒメハルゼミについて（照葉樹林に生息するヒメハルゼミの死骸の観察）
- ・台風被害による森林の変化について（2018年台風被害による倒木被害の確認）
- ・モミとスギの樹形について（二種の樹形の違いの確認）

- ・ヤマビルの観察
- ・春日山原始林内の春日大社末社について（大神神社の確認と設置の理由について）
- ・若草山から原始林の眺めと景観について（原始林の特徴、春日山～御蓋山～奈良公園の緑が繋がる景観の確認）

#### ■実施風景（写真）



#### ■感想

- ・フィールドワークは3回目だが、毎回新しい発見がある。
- ・季節によってみれるもの等が変わってくると思う。今回も新しい発見があった。
- ・初めて春日山を歩いた。疲れたというのが正直な回答だが、ゆっくり歩いて、ポイントごとに見方などを解説してもらい面白かった。

#### ■ポートフォリオから

- ・自然の観察とともに私たちがこの春日山原始林を後世に受け継いでいく一員として何かできることはないかというのを考えながら参加していきたい。
- ・大学生である私たちがこの春日山原始林の問題に向き合い、守っていける担い手になれるといいなと思う。